



+らiふ ニュース

令和2年度 冬号



(編集・発行)令和3年3月
 相談支援事業所 宮城野雲母倶楽部+らiふ
 〒983-0012 仙台市宮城野区出花1丁目3-11
 TEL/FAX : 022-254-6757
 HP : <http://kilala.biz/>
 編集責任者 秋保 明

令和2年度宮城野区障害者自立支援協議会の取組み

今年度の宮城野区障害者自立支援協議会(以下、宮城野区自立協)では大きく3つの活動を行いました。

① 福祉避難所に関する勉強会

私たちの身近で災害が頻発しています。昨年の宮城野区自立協では災害時の対応に関わって、福祉避難所について知りたいとの声がありました。今年は新型コロナウイルス対策の為、地域の方々をお呼びしての開催はできませんでしたが、まずは支援者が福祉避難所について知り、必要な方々にその情報を伝えられるよう地域包括支援センターの方などにもお声がけして開催しました。

市担当者様及び福祉施設所長様から福祉避難所の概要の説明、東日本大震災での福祉避難所開設時の実体験についてお話をいただきました。実際の体験をもとにした話を普段あまり聞く機会はなく、とても良い経験になりました。

② グループホーム事業所との連携についての検討

昨年の宮城野区自立協の活動ではグループホームのマッチングが難しいという課題についてグループワークを行い、グループホームとの情報交換会の開催やGH空き情報がタイムリーにわかる手段があるとよいとのアイデアが出されました。その為、今年度は情報交換会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けGH職員の方に直接会ってお話を聞くことは難しいと判断し、今回はアンケートを作成し記入していただく形としました。アンケート作成に当たっては、仙台市グループホーム連絡会の方にもご協力いただき、会員の方々が回答しやすい内容に修正を重ね無事に発送を終えたところです。今後、アンケートを通して得られた仙台市グループホーム連絡会とのつながりを活かし、相互理解を深めスムーズな連携が図れるよう情報共有の機会等について検討していきたいと考えております。

③ 障害者相談支援事業所等連絡会議の開催

月1回のペースで行政機関や専門機関、相談支援事業所が集まり事例検討や各事業所内に寄せられる相談内容を共有する機会を設けております。その中で、支援機関同士のつながりの強化や職員一人一人の相談支援のスキルアップ、障害を持つ方が抱える悩みや困りごとを精査・分析し課題抽出する機会を設けております。その課題を地域全体で共有し、どう解決するかを地域なりに考える「地域力アップのための仕掛け」を日々考え活動しております。

投稿コーナー

このコーナーでは利用者の皆様のお声を載せていきます！

ペンネーム・そらさんの体験談から見えないつらさや不便さ、だれにでも起こり得ることであること、どのように乗り越え今の自分がいるのかを伝えていきます。

【 親が病む時、カサンドラになる子 】 そらさん No.12

高齢の母から手紙がきて、病んでいたのは自分だったとの文が書いてありました。今さら遅いと思いました。それに母は自分の言動をすぐに忘れるので、もうその自覚さえ頭からとんでいるのでしょうか。昔から夫婦問題でどこか病んでる親から影響を強く受けてしまい、人生でほんとした記憶がありません。上手に外向きの顔を持つ親だったので誰も私の訴えを本気にしませんでした。世の中まだ無意識に親の言う事は正しいという風潮がありますが、親が病んでねじれた思考にある場合、子の人生は大変です。親になったからといって人は全員成熟するわけではないし、親から普通の会話が取れない子供側が相談できる場所がないというのは変だと思います。